安全データシート

作成日　2008年10月14日
改訂日　2026年 4月24日

【GHS9版，JIS Z7252（2025），JIS Z7253（2025）準拠】

1. 製品及び会社情報

整理番号	KX006-04
製品名	クミテンエース
会社名	クミアイ化学工業株式会社
住所	〒110-8782　東京都台東区池之端一丁目4番26号
担当部門	サステナビリティ推進部　レスポンシブル・ケア推進課
電話番号	03-3822-5180
FAX番号	03-3823-6830
ホームページ	https://www.kumiai-chem.co.jp/
緊急連絡先	平日　午前9時～午後5時　（電話番号03-3822-5180）
推奨用途	農薬（最終有効年月まで）
使用上の制限	推奨用途以外への使用を禁ずる。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分2A
皮膚感作性	区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性）	区分2
水生環境有害性 長期（慢性）	区分2

上記で記載がない危険有害性は､｢区分に該当しない｣か｢分類できない｣。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語　警告

危険有害性情報

【物理化学的危険性】

・該当なし

【健康有害性】

H319 強い眼刺激

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

【環境有害性】

H401 水生生物に毒性。

H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き　【安全対策】

P101 医学的な助言が必要な時には，製品容器やラベルをもっていくこと。
P102 子供の手の届かないところに置くこと。
P103 全ての指示をよく読み，従うこと。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/を着用すること。
P261 ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P264+P265 取扱後は手、顔、眼を良く洗うこと。眼を触らないこと。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。

【応急措置】

P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337+P317 眼の刺激が続く場合：医療処置を受けること。
P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
P333+P317 皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医療処置を受けること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P391 漏出物を回収すること。

【保管】

・特記事項なし。

【廃棄】

P501 内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。又は都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

他の危険有害性　・情報なし。

３．組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：　混合物

化学名又は一般名：　ポリアルキレングリコールアルキルエーテル
（別名：ポリオキシアルキレンアルキルエーテル）

成分及び含有量：

	(W/W)
ポリアルキレングリコールアルキルエーテル	36.0%
有機溶剤等	64.0%
合計	100.0%

危険有害成分：

	(W/W)
ポリアルキレングリコールアルキルエーテル	36.0%
プロピレングリコール（別名：プロパン-1,2-ジオール）	38.3%
ジメチルスルホキシド（別名：DMSO）	20.0%
ビス(2-エチルヘキシル)スルホサクシネート・ナトリウム塩（別名：ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート）	1.4%

分子式：　省略

官報公示整理番号：

化審法	2-234	プロパン-1,2-ジオール
	2-1553	ジメチルスルホキシド

	2-1620、2-1623	ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート
CAS RN®:	非開示	ポリアルキレングリコールアルキルエーテル
	57-55-6	プロパン-1,2-ジオール
	67-68-5	ジメチルスルホキシド
	577-11-7	ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート

4. 応急措置

吸入した場合:	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息をさせること。すぐに救急の医療処置を受けること。
皮膚に付着した場合:	多量の水で皮膚を速やかに洗浄すること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合:	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合:	口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状:	情報なし。
応急措置をする者の保護:	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用すること。 (「8. ばく露防止及び保護措置」を参照)
医師に対する特別注意事項:	対症療法を実施してください。 治療方針を決定する際の問い合わせ先:(財団法人)日本中毒情報センター (「17. 緊急連絡先」を参照)

5. 火災時の措置

適切な消火剤:	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類。 初期の消火には粉末、不活性ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。
使ってはならない消火剤:	棒状放水。
特有の危険有害性:	火災によって刺激性、有毒なガスが発生するおそれがある。
特有の消火方法:	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、容器および周囲を水噴霧で十分に冷却する。 火災発生場所の周辺には、関係者以外の立入りを禁止する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:	消火作業では適切な保護具(防じん機能付きの防毒マスク(JIS T 8152)、自給式呼吸器、化学用保護衣等)を着用し、煙やガスを吸入しないよう注意する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置:	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏出区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。風下の人を退避させる。 密閉された場所では換気する。作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
環境に対する注意事項:	流出した物質が河川等に流入し、環境への影響がでないように注意する。流出が著しく回収できない場合は、地方自治体や消防等の行政機関に通報

する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 危険な状態でなければ漏れを止め、排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ措置を取る。漏出物が少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる適切な空容器に回収する。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。回収物は廃棄時まで適切に保管・管理する。大規模の漏洩の場合は、消防、警察および行政機関に連絡するとともに、防爆型ポンプを使用して回収する。回収物は廃棄時まで適切に保管・管理する。追加情報として、「13. 廃棄上の注意」を参照。

二次災害の防止策 全ての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火災の阻止)。
危険でなければ、漏出物を速やかに回収すること。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
すべての着火源を取除き、静電気対策(アースやボンディング、帯電防止作業靴と作業服の着用、アースされた導電性床の採用等)を講じる。

局所排気・全体換気: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。

安全取扱い注意事項: 全ての安全注意事項を読み理解するまで取扱わないこと。取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに蒸気、ミストを発生させない。蒸気やミストが発生する場合には、吸入を避け、皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼との接触を避けること。取扱いの際は飲食または喫煙をせず、取扱い後は手や付着部分をよく洗うこと。

接触回避: 情報なし。

衛生対策: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後は手、顔、眼等を良く洗い、うがいをすること。

保管

安全な保管条件: 排水管や下水管へのアクセスのない、直射日光が当たらない冷暗所で、密閉した容器に入れ施錠して保管する。飲食品や飼料と区別して保管すること。
詳細は製品のラベルに従うこと。

安全な容器包装材料: 破損していない元の容器に密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度(厚生労働省): 設定されていない。

許容濃度

日本産衛学会(2025年度) 設定されていない。

ACGIH(2025年版) 設定されていない。

設備対策: 取扱いはできるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気または全体換気装置のある場所で取扱う。
有害物が環境中へ放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。
貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器、緊急用シャワー等の施設を設置し、位置を表示すること。

保護具 選定にあたっては「皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアル(2025年3月第2版厚生労働省)」を参考にする。

呼吸用保護具: JIS T 8150を参照し、作業に適する性能および構造の防じんマスク又は簡易防じんマスク、防毒マスク等(JIS規格:JIS T8151、T8152)を着用すること。

手の保護具:	作業に適したゴム手袋等の不浸透性の化学防護手袋を着用すること。JIS T 8116に適合する化学防護手袋の選定にあたっては、保護具メーカーから最新の情報を入手すること。
眼及び／又は顔面の保護具:	JIS T 8147を参照し、作業状況に応じた適切な保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）又は保護面を使用すること。
皮膚及び身体の保護具:	作業に適した作業着を着用する。作業状況により不浸透性の保護衣（化学防護服、化学防護長靴等）も着用し、選定にあたっては、化学防護服はJIS T 8115、化学防護長靴はJIS T 8117を参照する。

９. 物理的および化学的性質

物理状態:	液体	8)
色:	淡黄色澄明	8)
臭い:	情報なし。	
融点/凝固点:	情報なし。	
沸点、初留点及び沸騰範囲:	情報なし。	
可燃性:	情報なし。	
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界:	情報なし。	
引火点:	106℃（クリーブランド開放式）	1)
自然発火点:	情報なし。	
分解温度:	情報なし。	
加水分解性:	情報なし。	
水中光分解性:	情報なし。	
pH:	4.0～6.0（100倍希釈）	1)
動粘性率:	情報なし。	
溶解度:	情報なし。	
オクタノール/水分配係数:	情報なし。	
蒸気圧:	情報なし。	
密度及び/又は相対密度:	1.00～1.05（見かけ比重）	1)
粉じん爆発下限濃度:	情報なし。	
最小着火エネルギー（MIE）:	情報なし。	
相対ガス密度:	情報なし。	
粒子特性:	情報なし。	
酸化性:	情報なし。	
金属腐食性:	情報なし。	

１０. 安定性および反応性

反応性:	通常の取扱い（使用、保管、運送等）において反応性なし。
化学的安定性:	通常の取扱い条件下では安定。
危険有害反応可能性:	通常の取扱い条件下では特記すべき反応性なし。
避けるべき条件:	情報なし。
混触危険物質:	情報なし。
危険有害な分解生成物:	情報なし。

１１. 有害性情報

急性毒性

経口:	ラット LD_{50} : >2,000 mg/kg 「区分に該当しない」	1)
経皮:	ラット LD_{50} : >2,000 mg/kg 「区分に該当しない」	1)
吸入(ガス):	GHS分類上液体であり、分類基準に該当しない。	
吸入(蒸気):	混合物、成分ともに情報不足。「分類できない」	
吸入(粉じん):	GHS分類上液体であり、分類基準に該当しない。	
吸入(ミスト):	混合物、成分ともに情報不足。「分類できない」	
皮膚腐食性／刺激性:	ウサギ 軽度の刺激性あるがGHS区分に満たない。「区分に該当しない」とした。	1)
眼に対する重篤な損傷性及び眼刺激性:	ウサギ 中等度の刺激性があり、9日後に回復。「区分2A」とした。	1)
呼吸器感作性:	混合物、成分ともに情報不足。「分類できない」	
皮膚感作性:	モルモット(ビューラー法)で陽性。「区分1」とした。	1)
生殖細胞変異原性:	混合物、成分ともに情報不足。「分類できない」	
発がん性:	混合物、成分ともに情報不足。「分類できない」	
生殖毒性:	区分2に分類される成分を2%含むが濃度限界以下。混合物、成分ともに情報不足であり「分類できない」とした。	2)
授乳を介した影響:	混合物、成分ともに情報不足。「分類できない」	
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	混合物、成分ともに情報不足。プロピレングリコールを38.3%含むが資材メーカー提供SDSに従い「分類できない」とした。	2)
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	混合物、成分ともに情報不足。プロピレングリコールを38.3%含むが資材メーカー提供SDSに従い「分類できない」とした。	2)
誤えん有害性:	混合物、成分ともに情報不足。「分類できない」	

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

短期(急性) :水生生物に対する毒性から「区分2」とした。

長期(慢性) :水生生物に対する毒性及び急速分解性を示すデータがないことから「区分2」とした。

水生生物に対する毒性

魚類	:コイ(*Cyprinus carpio*)	LC_{50}(96hr) : 10.4mg/L	1)
甲殻類	:オオミジンコ(*Daphnia magna*)	EC_{50}(48hr) : 34.0mg/L	1)
藻類または水生植物	:緑藻類(*Pseudokirchneriella subcapitata*)	EbC_{50}(72hr) : 8.80mg/L	1)

残留性・分解性

土壌残留性	情報なし。
生分解性	情報なし。
生体蓄積性	情報なし。
土壌中の移動性(吸着／脱着等)	情報なし。
オゾン層への有害性	情報不足。「分類できない」

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。廃棄においては、国及び国際規則等の関連法規並びに地方自治体の規定に従うこと。処分を委託する場合は、廃棄物の内容を明確にし、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に危険性、有害性を十分に告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の規定に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輌、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。重量物を上積みしない。

国際規制

海上規制情報：	IMOの規定に従う。
航空規制情報：	ICAO/IATAの規定に従う。
UNNo.:	3082
UN Proper Shipping Name：	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. （Ethoxylated propoxylated alcohols mixture）
Transport hazard Class(es)：	9
Packing Group：	Ⅲ
Marine Pollutant：	該当
Maritime transport in bulk according to IMO instruments	バラ積み輸送は意図しない。

国内規制

陸上規制情報：	道路法、消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法の規定に該当する場合は、それぞれの法律の規定に従う。
海上規制情報：	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報：	航空法の規定に従う。
特別安全対策：	飲食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
バルク輸送におけるMARPOL条約附属書Ⅱ及びIBCコード:	バラ積み輸送は意図しない。
緊急時応急措置指針番号：	171

15. 適用法令

労働安全衛生法

施行令第18条（表示対象物質）
:プロピレングリコール（38.3%）（安衛則別表第2の1786）
:ジメチルスルホキシド（20.0%）（安衛則別表第2の1035）
:ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート（1.4%）（安衛則別表第2の1445）

施行令第18条の2（通知対象物質）	:プロピレングリコール（38.3%）（安衛則別表第2の1786）
	:ジメチルスルホキシド（20.0%）（安衛則別表第2の1035）
	:ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート（1.4%）（安衛則別表第2の1445）
安衛則第594条の2（不浸透性の保護具等、適切な保護具使用の義務）	
	:ジメチルスルホキシド 皮膚吸収性有害物質
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	:非該当
毒物及び劇物取締法	:非該当
化学物質審査規制法（化審法）	:優先評価化学物質 プロパン-1,2-ジオール（官報整理番号 2-234）
	:優先評価化学物質 ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート（官報整理番号 2-1620, 2-1623）
	:一般化学物質 ジメチルスルホキシド（官報整理番号 2-1553）
消防法	:危険物第4類 第3石油類
農薬取締法	:該当
船舶安全法	:有害性物質（液体）（危規則第2, 3条危険物告示別表第1）
航空法	:その他の有害物件（液体）（施行規則第194条危険物告示別表第1）
道路法	:非該当
水質汚濁防止法	:非該当
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律	:海洋汚染物質
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	:産業廃棄物

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

参考文献
1) クミアイ化学工業（株）社内データ
2) 資材メーカー提供「安全データシート」
3) GHS 改訂9版（2021）
4) JIS Z 7252：2025 GHSに基づく化学品の分類方法
5) NITE-CHRIP NITE統合版 政府によるGHS分類結果（2026年4月）
6) 産業衛生学雑誌 67巻5号183～215頁（2025年）「許容濃度の勧告」
7) 2025 TLVs® &BEls® （ACGIH）
8) 農薬登録情報

作成部署以外の連絡先

（公益財団法人）日本中毒情報センター

大　阪（年中無休、24時間）	一般市民向け相談電話（無料）	072-727-2499
	医療機関専用有料電話（1件2,000円）	072-726-9923
つくば（年中無休、24時間）	一般市民向け相談電話（無料）	029-852-9999
	医療機関専用有料電話（1件2,000円）	029-851-9999

※ただし、上記のいずれも通話料は相談者のご負担となります。

※弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料（1 件 2,000 円）は弊社が

負担いたします。